



その事故は国道23号線の鈴鹿市内で起こりました。

浩太郎は座席に座ってシートベルトをしたままの姿で即死でした。

相手は大型トラックで、真横から減速もせず衝突されました。

その時の信号の色はトラックの運転手しか知りません。

氷河期と言われた就職難の時期、何千人のエリートから勝ち残って希望の会社に決まり、その入社式を明日に控えた前日のことでした。

世の中にこんなに酷いことがあるのでしょうか。

いつも安全運転を心がけ、ルールもしっかり守っていた息子だけに、まったく信じられません。

死亡事故は悲惨です。

どんなに手を尽くそうとも元には戻りません。

遺族も仕事や学生を辞めざるを得なくなったりして、人生がめっちゃくちゃになります。

そしてそのことを一生背負っていかなければなりません。

死亡事故は他人事ではありません。

どんなに注意していても、あなたにも起こるかもしれないのです。

運が悪かったら死ぬなんて、認められますか。

今一度、交通安全とは何かをじっくり考えてみてください。

